

第 35 回 区民会議交流会について

平成 21 年 11 月 26 日(木)、中区波止場会館において、第 35 回区民会議交流会が開催されました。

昭和 50 年から始まった区民会議交流会。しかし、各区の活動意識、そして形態に変化が生じ、また市区財政も厳しくなる中、平成 20 年 3 月には市から、『「区民会議事務取扱要綱（昭和 50 年 5 月 14 日制定）」の廃止について』との文書も出され、区民会議の活動は各区の状況に沿った形で進める、という方向性が打ち出されました。

区民の意識も変化し、地域における区民会議の活動の意義が見えない、区民会議の役割は終わった、等の意見もある中、各区の区民会議は、「自分達は何をなすべきか」「自分達は何ができるか」を求めて検討に検討を重ねてきました。その変遷と今後の活動の方向性について、今回の交流会は、「これからの区民会議・市民活動を考える」のテーマの下、これまでの区民会議の足跡や、一つのパターンでは括りきれない個性ある数区の活動の現状の報告を聞くと共に、これからの区民会議、あるいは市民の手による「市民活動」としての区民会議を考えてみようとの趣旨で開催されました。

この中で神奈川区民協議会は、他区と比較して、より地域との連携を旨とした活動を展開している現状を報告しました。また、新たに取り組む「地域のつどい」に対する考え方と、第 16 期区民協議会の活動に向けての新たなテーマの設定の仕方などについて報告を行いました。

